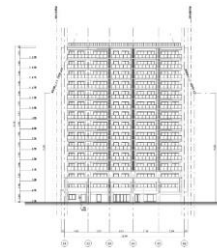


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レーベン小田急相模原 新築工事	階数	地上15F
建設地	相模原市南区南台五丁目4965番5ほか	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	285 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2018年9月4日
敷地面積	1,254 m ²	作成者	株式会社明建築設計事務所
建築面積	471 m ²	確認日	2018年9月4日
延床面積	5,430 m ²	確認者	株式会社明建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
敷地境界沿を主に緑化し、落ち着いた外観色を選定することにより、景観に配慮した。		
Q1 室内環境 専用部分について、遮音性に配慮し、高い昼光率を確保するなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 住宅性能評価における劣化対策等級3としている。	Q3 室外環境(敷地内) 標準的な配慮を行っている。
LR1 エネルギー 潜熱回収型ガス給湯器の採用等、建物の省エネルギー性能を高めた設計としている。	LR2 資源・マテリアル 標準的な配慮を行っている。	LR3 敷地外環境 標準的な配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される